

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



渾源県二嶺村でお墓を守る風水樹。ヤナギだと思っていたら、ポプラ(小葉楊)だった

Contents

| | |
|-------------------------|-----|
| 講演会『どうなる世界の水問題』報告 | P 2 |
| 張家の春節(中国のお正月) | P 4 |
| GEN第10回会員総会のお知らせ | P 4 |
| 日中水フォーラム2004・北京 | P 5 |

2004.3

96

どうなる世界の水問題

沖大幹さん講演会報告

1月23日、沖大幹さんを講師に招いて大阪市立総合生涯学習センターで開かれた講演会『どうなる世界の水問題』は、約60名の参加者があり、水問題への関心の高さがうかがえました。内容の要約(文責・編集部)と、感想を紹介します。

資源としての水の特性

飲料水は、1人1日2~3リットル必要だ。日本人は、生活用水にその100倍の水をつかっている。そのほとんどが、洗うための水。水をつかうことは、水を汚すことである。汚れた水は、資源としてはないのと同じことになる。

水は安価な資源なので、輸送や保管にコストを費やすことができない。必要なとき、必要な場所に、必要な質の水があることが肝要である。

日本の水利用

日本人は水道水を1日330リットル、年間で120t以上つかっている。農業用水は500tぐらい。工業用水を加えると、年間1人あたりおよそ750tで、日本全体では約900億t、90立方kmになる。

それに対して、日本の利用可能な水資源量はおよそ380立方kmだから、利用可能な水の約4分の1をつかっているわけだ。世界では、年間4万立方kmの水が利用可能。そのなかで3,800立方km、およそ10分の1をつかっている。それに比べると日本は利用率が高い。

水ストレス

世界的につかわれている水ストレス指標は、まず、1人あたりの利用可能な水資源量。1,700tより多いとストレスがない。1,700~1,000だと、少しストレスがある。1,000~500tで中ストレス。500tより少ないとストレスが高い。もうひとつは、年の利用量を資源量で割った値(水利用比)で、この数字が0.4より大きいとストレスが高い。

将来の水使用量

水使用量は増加すると予測されるが、その主な原因は人口増加である。現在、水ストレス指標が0.4より高い人は、世界で17億人いる。2050年には、人口増加によって26億人になるとされる。温暖化で水循環が変化し、利用可能な水が増えれば、24億人ですむだろう。経済成長による水使用量の増加を

考慮すると、25億人と予想される。

ヴァーチャルウォーター(仮想水)

小麦やトウモロコシ1kgをつくるには、2t、つまり2000倍の水が必要。穀物を食べて育つ家畜の肉の場合、鶏で2~3倍、豚で5倍、牛で8~11倍の穀物が必要とされる。ハンバーガー1個に2tの水、という計算になる。

そもそも仮想水とは、水資源量が少ない中東の国がさほど水に不自由していないのは、自国で農産物をつくらず、石油を売ったお金で食糧を輸入しているからだ、あたかも水を輸入しているようなものだという考え方だ。よく間違えられるが、輸出国でどれだけの水をつかったかではなく、自国でつくればどれだけの水が必要かというのが仮想水。たとえば、アメリカでは1,700tの水で1tの大豆をつくれるが、日本では2,500tが必要になる。日本がアメリカから1tの大豆を輸入すると、相当する仮想水は2,500tになる。ただし、平均値をつかう考え方もあり、国際的にはまだ統一されていない。

仮想水とグローバリゼーション

上記の例のように、多くの場合、輸出国の方が輸入国より効率がいい。仮想水の考え方では、食糧交易のグローバリゼーションをすすめれば、水が節約できて水不足も緩和できることになる。しかし、これでは地域の農業保全が考慮されていない。一面的な

見方でしかないことに注意が必要だ。

日本の仮想水輸入

日本国内の農業用水使用量は1人あたり500t。日本の輸入を仮想水におきかえると640億tで、1人あたり約500tになる。ほとんどがトウモロコシ、大豆、小麦、牛肉。国内の農業生産とおなじぐらいを海外に頼っていることになるが、食糧自給率がカロリーベースで40%といわれるのを考えると、妥当な数字だろう。

切り離せない水と貧困

水ストレスが高い国、水利用比が0.4以上の国に、仮想水の要素を加えてみると、1人あたりGDPが高い国ほどストレスが軽減される。豊かな国は仮想水=食糧を輸入することによって水不足が解消されるが、貧しい国は飲料水はなんとか確保できても、食糧を輸入することができない。水不足はどの渴きではなく、空腹をもたらすのだ。貧困問題を解決しないかぎり、水問題は解決されない。

仮想水と水利用の今後

仮想水の概念によって、将来の水需給や水利用の改善点を考えることができる。ただし、現在の仮想水研究は量だけを対象にしている。他の生産手段、土地やエネルギーの必要量や、環境や社会に与える影響については考慮していない。水利用の将来を考えると、生態系への配慮を忘れてはならない。

* * * * *

もっと詳しく知りたい方へ

沖大幹さんホームページ

<http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/taikan/taikanJ.html>

「水をめぐる人と自然」(嘉田由紀子編・有斐閣選書)の1章を執筆。

多様な切り口で考えたい水問題

前川 宏 (GEN世話人)

それは「水資源」という切り口によるのではないかと思われました。

「水資源」から考えると、水の運搬、貯蔵、汲み上げ、浄化等の費用、そして、適正な水の値段というながれになり、その次は水資源開発、ビジネスチャンスへと展開していくと思われま

沖先生の講演は地球の水の循環という大きな「水文循環」と「水資源」の観点からのお話でした。

そのお話からは「黄土高原だより」で伝えられるような水問題に対する危機感は、ほとんど感じられませんでした。なぜそうなのか考えました。



す。

「環境としての水」を切り口にすれば、すべての生きものは水なしには生きていけないことがわかります。アラブ海やチャド湖をはじめ、湖沼や河川が干上がっています。住処を奪われ、飲み水を失った生きものは姿を消します。汚染された水で絶滅する生きものもいます。生態系の危機です。

「水へのアクセス権」という切り口からはどうでしょう。

水危機による環境難民は戦争難民を超え2500万人に達しており、20年後には1億人を超えるとの予測もあります(21世紀の水に関する世界委員会)。

環境難民が生まれるのは砂漠化や河川、湖沼の干上がり等によります。しかし、これは単なる自然現象ではなく、人間の不適切な行為によるものです。

さらに、綿花などの「仮想水」が水の乏しい所からお金の豊かな所にながれる仕組みにも原因があります。

1日に1ドル以下で暮らす人が世界人口の4分の1以上を占めるそうです。

水の値段が上がれば、これらの人は水さえ口にできません。干上がった川の魚と同じです。人間の危機です。

切り口により、水問題が様々にとらえられるということもわかるお話だったと思います。

GEN自然と親しお会 立花先生と歩く 京都フラワーセンター

日時：5月16日(日)

案内：立花吉茂さん(花園大学客員教授、GEN代表)

場所：京都フラワーセンター(京都府相楽郡精華町。近鉄京都線「狛田」駅、JR片町線「下狛」駅)

京都フラワーセンターは自然林、花木園、温室、ハーブ園、水生花園などの施設があります。新緑の自然林の樹

木、野草などの観察をメインに各施設も見学します。立花先生の案内は、豊富な実践と知識でいつも話がつきません。ぜひご参加ください。

参加ご希望の方はご連絡ください。後日詳細をご案内します。

GEN事務所からのお願い

この春から新生活をはじめの方もおられることでしょう。会員、会報購読者で、住所、電話番号、メールアドレスなどの変更がある方は、すみやかにGEN事務所までご連絡いただくようお願いいたします。できれば新しい所属もお知らせください。



いますぐできるGENへの協力

会員になってください!

まだ会員になっていない方、ぜひ会員になってGENの活動を支援してください。また、環境問題や国際協力に関心をお持ちの知り合いに、会報の購読などをすすめてください。

カササギの森にご参加ください!

1ha分5万円を1口としてご協力いただいている大同県聚楽郷のカササギの森は実験林場として期待されています。スタッフの熱心さは驚くほど。みなさんのあたたかいご協力をお願いします。

緑化基金、運営カンパもとむ

金額はいくらでもけっこうです。みなさんのお気持ちをわけていただけると嬉しいです。

ビデオ『よみがえる森』ご購入を!

砂漠化、水不足など黄土高原の環境問題とGENの緑化協力を30分にまとめました。価格は5,000円、GEN会員価格は4,000円(送料270円別途)です。教材にも好適。

絵はがき『中国・黄土高原』

橋本紘二さんの写真で制作しました。

『春』『夏』『秋・冬』『緑化』の4種類、それぞれカラー8枚組、1セット(8枚)300円(送料別)です。

書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のハガキを回収して、通信費にあてています。古切手回収もはじめました

記念切手、普通切手、外国切手、なんでもOKです。7グラムでマツ苗1本分になります(価格・為替の変動により、変わることがあります)。

商品券などをお寄せください

ご家庭で眠っていて使うあてのない図書券、文具券、各種商品券がありましたらお送りいただくと嬉しいです。換金して運営資金にあてます。

ボランティア募集

ボランティア可能な方はご連絡ください。会報発送など、来ていただきたいときにGEN事務所から連絡します。

出版物をご購入ください

『ぼくらの村にアンズが実った』高見邦雄著/日本経済新聞社/定価1,600円(税別)/GEN価格1,600円+送料

290円

『中国黄土高原～砂漠化する大地と人びと』橋本紘二写真集/東方出版/定価6,000円(税別)/GEN価格6,000円(送料サービス)注文はGEN事務所へ

使用済みプリペイドカード回収

前号でもお知らせしましたが、テレカ以外の使用済みプリペイドカードの回収もはじめました。カード2~8枚でマツ苗1本分になります(価格・為替の変動により、変わることがあります)。手軽にできる協力として、周囲の方にも協力の輪を広げましょう!

【回収対象のカード】

使用済みテレホンカード

使用済みプリペイドカード各種

交通機関カード(JR、私鉄、地下鉄、バス) ハイウェイカード、図書カード、ふみカード、クオカード

【対象外のカード】

・折れ、汚れ、キズのあるもの
・テレビカード、パチンコのカード、JRAカード、入場券、優待券

とをわけて輪ゴムで束ねるなどしてお送りください。

送料は送り主負担でお願いします。

張家の春節

宮崎いずみ (GEN世話人)

中国では新年(春節)を旧暦で祝います。今年は1月22日。中国人の張友幹さんと結婚して北京で暮らしているGEN世話人の宮崎いずみさんが、張さんの故郷、河南省の農村での春節のようすを寄稿してくれました。

張家の田舎は中国南方、河南省南部固始県の農村にある。黄土高原と違い、気候に恵まれ、食べていくために十分な収穫を得ることができる。ただ、現金収入が非常にすくなく、生活が豊かとはいえない。張は姉が2人、弟1人の4人兄弟。上の姉は寧夏におり、長年田舎に帰っていなかったが、今年息子が大学に合格したので久しぶりに帰省して、兄弟姉妹が十数年ぶりにそろそろ春節となった。

張家の祖先は移民の故郷として有名な山西省洪洞から移り住んできた。張で4代目になる。春節の習慣は黄土高原のものとも中国の一般的なそれともすこし異なっている。



爆竹を鳴らすのは他所と同じ。大晦日の午後になると、昼食もそこそこに音の大きさを競い合う。30分も鳴らしつづける家もある。

それから、家族そろって豪華な食事をいただく。張家では必ずお米のご飯とありったけの材料でつくったおかずを食べる。お酒も飲む。今年はすべて食べてしまわず、お碗にご飯を残すことで「年年余り有ること(豊かであること)」を願った。残したご飯は牛などの家畜に与えて福をおすそわけ。

元旦の朝一番、家のドアを開けると同時に、また爆竹を鳴らす。朝食には、「湯元」というもち米で作った団子をゆでたものと、日本の素麺に似た細く長い麺を食べるのが決まりだ。

家族がそろったなと感じたのは、写

真撮影。中国ではそういう写真を「全家福」というけれど、張の両親2人が15人に増えたこと、58年の大飢饉、60~70年代のお腹いっぱい食べられない時代を乗り越えて、ここまで家族が増えたというのは確かに「福」であるうと実感される。

それに家族が多いと、それぞれに特技があるわけで、皆の靴をきれいに縫い、磨いてくれた上の姉夫婦、農家の大鍋いっぱいパオズを作って持たせてくれた下の姉夫婦。滞在中の世話をしてくれた弟夫婦。そして、私たちはもっぱら子どもたちの教育指導。子どもたちが楽しんでくれて、私たちも嬉しかった。都会の子どもだったら、嫌がられていたかも。

里帰りして一番困るのが出発前夜。お母さんがこれをもって帰れ、あれも持って帰れと包んでくれる。塩漬けの肉、ソーセージ、卵に鶏肉、パオズにピーナツに野菜。たしかに家のものはおいしいけれど、2人ではどうい食べきれない。でも、それがせめてもの



家族がそろって写真撮影。「全家福」という親の気持ち。いつも仕送りをもらうばかりで、自分たちからは何もしてやれないという寂しさ、自分たちの能力の限界に対する悲しみの表れなのだろう。

実は、春節に田舎に帰る人は減っているらしく、今年は人もまばらだった。多くが出稼ぎに出たまま、帰らないのだという。そうやって耕作する土地が減ったせいか、3年前里帰りしたときよりも川の水かさ増し、草が増えていた。また、最近では幹線道路の近くや街に新たに家を建てる人が増えて、崩れかけた無人の家は放棄され、田畑も減っているそう。農村も社会の変化のなかで、だんだん分散化し、以前のにぎやかさが希薄になってきていることが感じられた。

だからこそ、仕送りをして生活を助けるだけでなく、田舎の良さを見つけ、それを素直に表現することが彼らにとって励みになるのだということを中心に感じ、また里帰りしようという思いを新たにした春節だった。

緑の地球ネットワーク 第10回会員総会のお知らせ

昨年は世界水フォーラムでしたが、今春は日中水フォーラムが北京で開催されます。水の大切さ、樹木の大切さが、中国でも認識されはじめています。

緑の地球ネットワーク第10回の会員総会となる今年は、立花代表や小川顧問の先生にあたる吉良竜夫さんに記念講演をしていただきます。熱帯雨林から大興安嶺まで、世界の森林を歩いてこられた吉良先生は、近年はモンゴルのフブスグル湖で調査をしておられます。興味深いお話をうかがうことができますでしょう。

【緑の地球ネットワーク第10回会員総会】

日時：6月19日(土) 13時30分～16時30分

記念講演：13時30分～15時10分

吉良竜夫さん(大阪市立大学名誉教授)

会員総会：15時20分～16時30分

場所：大阪市立総合生涯学習センター第1研修室(大阪駅前第2ビル5階 TEL. 06-6345-5000 各線「梅田」駅、JR「大阪」駅/東西線「北新地」駅)

総会終了後、同じ会場で手づくり懇親会を予定しています。企画・世話係を募集中です。希望者はGEN事務所までご連絡ください。



日中水フォーラム2004・北京

中華全国青年連合会の湯本淵さんが、会報「緑の地球」の前号に北京で開催される「日中水フォーラム」の案内を書いてくれました。

3月に開催されている全国人民代表大会では、中国の「バランスのとれた発展」が重視され、沿海部・内陸部の格差是正、環境問題の克服が大きな課題になっているようです。

今回の水フォーラムは4月20日から22日まで、北京の五洲大酒店を会場に開催され、主催は中国共産主義青年団

中央と中華全国青年連合会です。中国の党と政府の登竜門であり、胡錦濤主席の出身母体、明日の中国のトップリーダーを擁する組織が、中国の水問題の重要性を認識し、正面からとりあげるのには、大きな意義のあることだと思います。水利部、建設部、環境保護総局が後援し、副部長（次官）クラスの幹部が多数出席するそうです。

日本からも橋本龍太郎元総理、尾田栄章第3回世界水フォーラム事務局長などの出席が決まり、各方面の研究者、

企業、市民ボランティアなどの参加が広がりつつあります。

全体会議のほかに（1）水をめぐる文化、（2）水についての政治、（3）水をめぐる技術、（4）ユースフォーラムの4分科会が開催されます。日本からの参加のほか、中国に在住する人たちの参加も大歓迎です。フォーラムの日程、参加のしかたなどについては、緑の地球ネットワークまでお問い合わせください。（高見）

大同におけるGENの緑化協力－6－

カササギの森

実験林場「カササギの森」は2001年春に着工しました。ワーキングツアーのリピーターから「農村をつぎつぎ回るのはいいけど、自分たちが植えた木のその後の成育ぶりもみたい」という意見がでました。そのためには、自前の造林地が必要です。大同のカウンターパートからは「日本の専門家から教えられた造林技術を自由に試すことのできる自前の林場がほしい」という希望ができました。この2つは1つのプロジェクトとして実現できます。

大同県聚楽郷で「退耕還林」の対象になっている600haほどの土地の50年間の使用権を確保し、「カササギの森」の愛称をつけました。カササギは農村の人たちにも親しまれ、「カササギがくるといいことがある」という言い伝えがあります。小鳥や小動物が群れ集う多様性のある森づくりのシンボルにしたかったのです。

国土緑化推進機構の緑の募金、日本経団連自然保護基金から基盤整備に協力をいただき、1ha5万円の募金をはじめたところ3年間で150人（団体を含む）を超えました。マツと灌木との混植のほかに、霊丘植物園で育てたナラ、カエデ、トネリコなどを実験的に植え、草も新しい品種の導入をすすめました。

日本からのすべてのツアーがここを訪れ、植樹にとりくんでいます。

大同事務所の技術顧問・侯喜さんは70歳近いのに、現場のスチール製2段ベッドに泊まり込み、陣頭指揮をとりました。その他の職員、臨時工も継続して植樹と管理にとりくみますから、責任感も技術水準も高いんですね。このところずっと90%以上の活着率をキープしています。菌根菌の活用といった新技術の効果も大きいでしょう。

ところが昨年7月25日、この一帯が激しい雨と雹にみまわれました。谷筋に植えたヤナギなどが土石流で流され、実験的に植えているナラなども雹に葉をたたかれたんです。協力関係にある聚楽村では4人の死者がでました。でも、この地方の人はしぶといんですね。貯水槽をすぐさま再建し、土で埋まった苗を掘り出し、被害を最小限に食い止めました。

あと1年ほどで、基本部分の植栽は終わります。大同事務所の武春珍所長がいうんですよ。「こういう直営プロジェクトをこのあとも継続したいですね。理想的には、このように成功したプロジェクト

を政府が買い上げてくれたらいいんですよ。植林に補助金をだしても、失敗に終わるケースが多いんです。成功したものを買い取るほうが、資金の面でも効率的で確実でしょう。林がお金に換われば、それをもとにして新しく造林できますから、資金と人材、技術を有効にいかすことができます。」

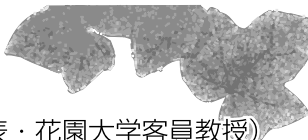
「カササギの森」を売ろうといってるんじゃないんですよ。経験を積んで、それくらい自信をつけたということです。そういう制度ができれば、たしかにおもしろいでしょうね。

前回の「霊丘自然植物園」の記事で、だいじなことを落としていました。管理棟から山上にあがる沢伝いの道が昨年完成したのです。これにより、園内で再生しつつあるさまざまな植物をみることができます。（高見）



日本大使館が組織した日中マスコミの取材班も植樹した

植物を育てる (27)



立花 吉茂 (GEN代表・花園大学客員教授)

モチノキ科の種子発芽

先号でクスノキ科10種の種子発芽について、土壌保温の影響を調査して報告した。ここでは同様の方法でモチノキ科に属する12種の発芽実験をおこなった結果を報告する。

実験の方法は、種子のあつかい方……それぞれの熟期に収穫した果実を後熟させてから果皮をのぞき、乾燥をふせぐためビニール袋に入れて保管し最終に収穫したものの整理が終わってから発芽床に蒔いた。発芽床はプランターに培養土をつめ、200粒ずつ種子を蒔き、ガラス室内においた。実験区は、対照区(自然温度)と保温区(地下保温)にわけた。

それぞれの発芽期間中の地温の推移を図1に示す。

実験の結果

対照区、保温区ともに2つのタイプにわかれた(図2)。すなわち、イヌツゲ、シマイヌツゲ、ウメモドキ、フウリンウメモドキの4種は翌年春にいっせいに発芽したが(A群)他の種はすべて1年目には全く発芽せず2年目の春に発芽した(B群)。

考察

クスノキ科の種類は保温によって発芽のパターンがいくつかにわかれたが、モチノキ科の場合は保温、自然温度で差があらわれず、はっきりと1年発芽型と2年発芽型にわかれた。1年発芽型の4種は落葉樹林帯に分布し、2年発芽型の種類は照葉樹林帯に分布するから、

北方型と南方型と考えることができよう。イヌツゲは照葉樹林帯にも分布するが北方のほうが多く、南方では山岳部に多いから耐寒性が強い種類と考えられる。

同じ照葉樹林帯に分布する常緑樹木であっても、クスノキ科に属する種類とモチノキ科に属する種類では発芽にかなりの差があるのは大変興味深いことである。

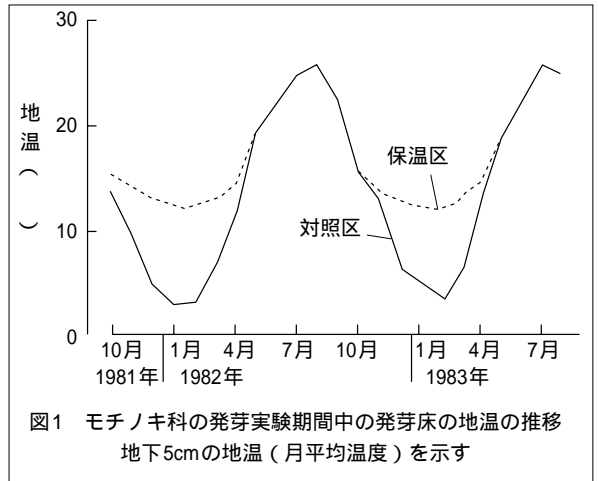


図1 モチノキ科の発芽実験期間中の発芽床の地温の推移
地下5cmの地温(月平均温度)を示す

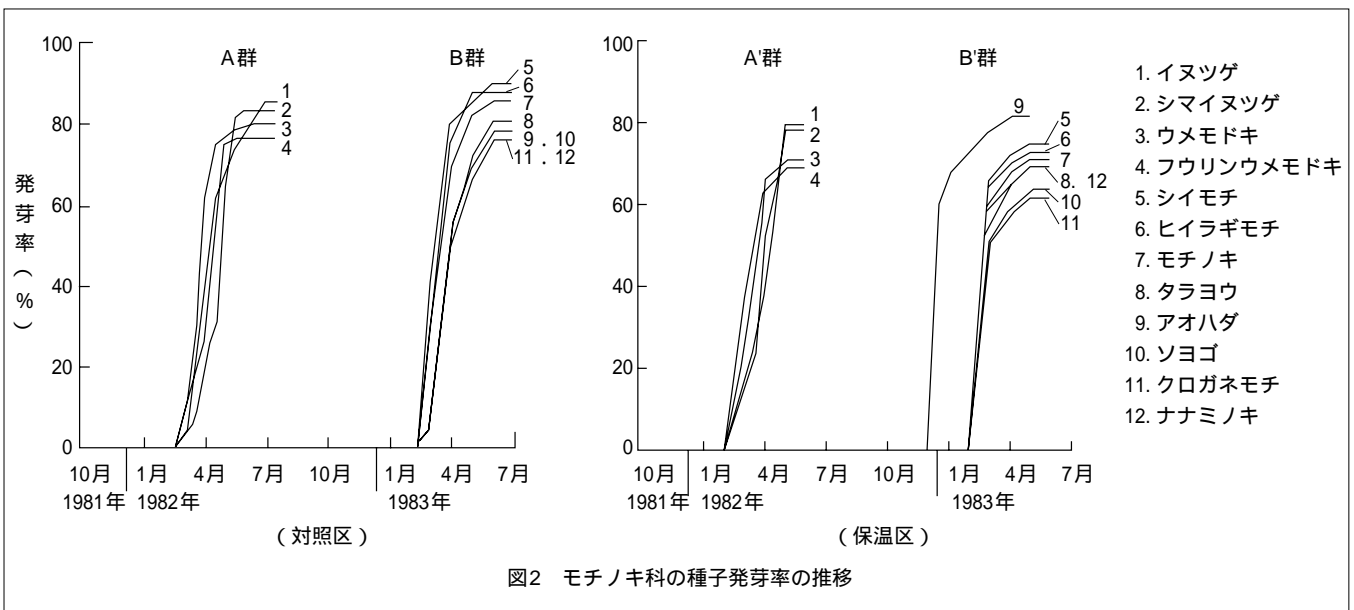


図2 モチノキ科の種子発芽率の推移

【大切なお知らせ】ホームページが引っ越しました

緑の地球ネットワークのURL(ホームページアドレス)が変更になりました。ブックマーク・お気に入りの登録を変更してください。

新) <http://homepage3.nifty.com/gentree>

このホームページで、GENの活動

についてや、大同の緑化協力のような、出版物のご案内などをご覧いただくことができます。また、高見事務局長のメルマガ『黄土高原だより』を読むことができます。『黄土高原だより』のページからはメルマガの配信登録もで

きるようになっているので、ご利用ください。

ホームページへの感想・ご意見を聞かせていただくと嬉しいです。



黄土高原史話〈18〉

二頭立てから四頭立て、そして歩戦も

谷口 義介（摂南大学教授）

馬に牽かせた古代戦車の基本型が完成するのは、B.C.1500年ごろ、イラク・シリア・トルコのあたり、当時の馬先進国ミタンニがその担い手だった、とか。

中国へは、その基本型が殷（商）代後期、B.C.1300年ごろ伝来。

西アジアから中央アジアの草原を通して、はるばる殷の都安陽へ。

甲骨文には戦車を表わす象形の文字あり、王様が車から落ちこたという記録も。

殷墟その他の遺跡からは、車1輛・馬2頭セットで埋葬された車馬坑もいくつか発見（図参照）

つまり二頭立てだったわけですが、これに対し周は四頭立て。天下分け目の牧野の戦いでは、その違いが機動力の差となって勝敗を決した、とも。しかし、殷の段階で周族が四頭立て戦車を保有していたかどうか、考古学的にはちょっと微妙。

『史記』周本紀によると、周の本隊が300乗（台）・同盟軍4,000乗、迎え撃つ殷軍は兵70万（17万？）とのみ。実はこのころ殷は東方の異族の反乱に

悩まされ、主力を投入。手薄になった都を背後から急襲した武王に対し、紂王は戦車部隊を呼び戻せず、やむなく歩卒のみ集めて応戦しようとしたのでは？

それはともかく、西周時代に入ってから四頭立てがメインに。

周の本拠地の黄土台地では段丘が多いため、フラットな華北平原とは異なり、どうしても外側の2頭（驂 = 添え馬）の力を借りねばなりません。四頭立てを「駟」とか「四牡」とかいて、『詩経』などによく出てきます。

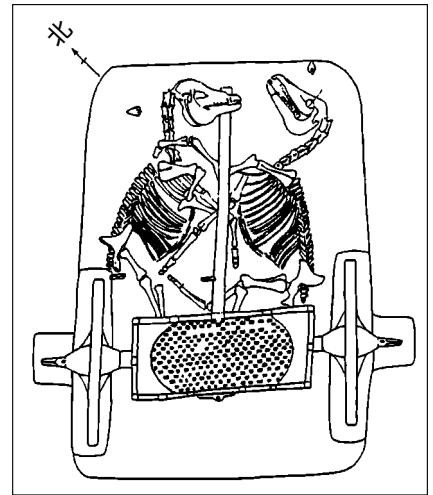
小雅六月の詩は、西周の末期、南下して王都をうかがう異族に対し、その本拠を衝くべく出征したさいの堂々たる陣立てを叙したものだ。

「戎車（戦車）すでに安まり、あるいは軽くあるいは軒く、

四牡すでに倍く、すでに倍くしてかつ閑（=健）し。

「獵狁を薄伐して、大原に至らん。」（第五章）

「獵狁」とは黄土高原の奥深く住む山地民。主として涇・洛二水の間を南下してきたから、「大原」はおそ



らくその上流の陝西北部の山間の地。四頭立ての戦車は、そうした地形での迅速な展開に適していたのでしょう。

ただし、『左伝』昭公元年の条に以下のような記事が。

B.C.541年、山西中部の大原（今の太原）付近まで北上した晋軍は、土地の戎・狄が険阻な地形を利用してゲリラ戦を仕掛けるのに手を焼き、そこで発想を大転換。自らの戦車部隊を解いて歩軍に編成しなおし、敵をおびき出して打ち破った、と。原文に「これを厄に困むればまた克たん」とあるのは、相手を狭隘な谷間に追い込むということ。黄土高原に特有な侵食谷＝ガリを利用しての戦法、とみるのは果たして深読み？

フィリピンで……

干場 革治（GEN世話人）

1月13日から1週間、フィリピンでの国際協力銀行（JBIC）による「国民参加型ODA促進セミナー」に参加しました。マニラのあるルソン島ではピナツボ火山災害の復旧現場、アンヘレスの水道事業、セブでは埋立地のゴミ処理場、ネグロス島では植樹と学校改修の現場を見学、住民とも交流をもち、意見交換。批判も多いODAですが、見たかぎりではおおむね住民のために役立っている感を深くしました。

ネグロスはバナナやマンゴー、パパイヤ、タロイモ等が身近にある自然豊

かな田舎です。砂糖キビ満載のトラックとすれ違いながら狭い林道を登り、電気もない村で交流会がはじまる。砂糖キビ刈りの日当45ペソ（1ペソ 2円）が植林作業で日当90ペソと倍増、生活が楽になったと村人。土壌保持力の弱い砂糖キビの焼畑農業から、保水力も強く短期に金になる果樹の栽培に切り替えるという。黄土高原で荒地にアンズを植えるGENの世話人としては共感。いま食べるための金が必要なのだ。だが植樹資金はあとわずか、果実が金になるまで持つか。また砂糖キ

ビの焼畑に戻り借金だけが残って、日当90ペソの“バブル”で終わらぬか。ODAを無駄にしないためにも、道路工事や植樹等の公共事業、竹などの加工業とそのためのファイナンスが必要だと、豚の丸焼3頭を前に考える。

アンヘレスではJBICの借款で水道事業を実施。地下水を汲み上げ、良質の水を安価に提供、住民に喜ばれる。立派な管理事務所もでき、借款の返済もはじまる。大同でも汚水浄化の試行プロジェクトが順調に進むが、同じ枠組みを利用して、飲用水、農業用水の供給事業が可能だ。ODAの低利融資を利用して用水施設を作り、安価に良質な飲料水、農業用水を供給、上がりで融資を返済するようにすればいい。



六甲奨学基金のための 第7回古本市

六甲奨学基金の主な活動は、毎年5名の兵庫県下の留・就学生への奨学金の支給と、留・就学生および家族などを対象にした日本語ボランティア教室の開催です。ご家庭に眠っている不要な本を役立ててもらいませんか。

受付期間：3月1日～31日（必着）

送付方法：直接持参または送料送り
主負担で送付

【注意】

- ・読む人の立場になって、汚れ・破れのひどいものはご遠慮ください。
- ・辞書大歓迎。絵本、マンガ、洋書可。
- ・雑誌、教科書、参考書、コンピュータ解説書、百科事典などは不可。
- ・価格設定はおまかせください。お送りいただいた本はお返しできません。販売時に使用する手さげ紙袋も集めています。

【古本市ボランティア募集】

3月15日から5月15日までの古本市

*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。

*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

期間中のボランティアも募集。可能な日にち・時間を主催者まで郵便、ファックス、eメールでご連絡ください。

送付先・問合せ先：（財）神戸学生青年センター 古本市係（〒657-0064神戸市灘区山田町3-1-1 TEL. 078-851-2760 FAX. 078-821-5878 URL <http://www.ksyc.jp> e-mail : info@ksyc.jp）

連絡先：脱ダムネット関西事務局
（TEL. 06-6374-3376 FAX. 06-6374-0608 e-mail : office@nature.or.jp
（社）大阪自然環境保全協会内
岡・新保）

土佐文旦をどうぞ

低農薬、有機栽培です。

| | | | | |
|---|-----|----|-------|--------|
| A | 5kg | 3L | 8～9玉 | 3,500円 |
| B | 5kg | 2L | 10玉前後 | 3,000円 |
| C | 5kg | L | 12玉前後 | 2,500円 |
| D | 5kg | M | 15玉前後 | 2,000円 |

10kg箱もあります。お問い合わせください。

出荷：4月上旬まで

送料別途。関西630円、関東840円（20kgまで）。

お申し込みは田中隆一さんまで。

〒781-7411 高知県安芸郡東洋町甲浦
TEL/FAX. 0887-29-2500

売上の一部をご寄付いただいているので、ご注文の際、「GENの紹介」とひとこと添えてください。

脱ダムネット関西 3周年記念集会

関西のダムは利水撤退のために、事業者は目的を変えて計画をすすめるようとしています。そんなことが法律上許されるのでしょうか？

日時：3月27日（土）18時～21時30分

場所：大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル5F TEL. 06-6345-5000）

講師：赤津加奈美さん（弁護士）

主催：脱ダムネット関西